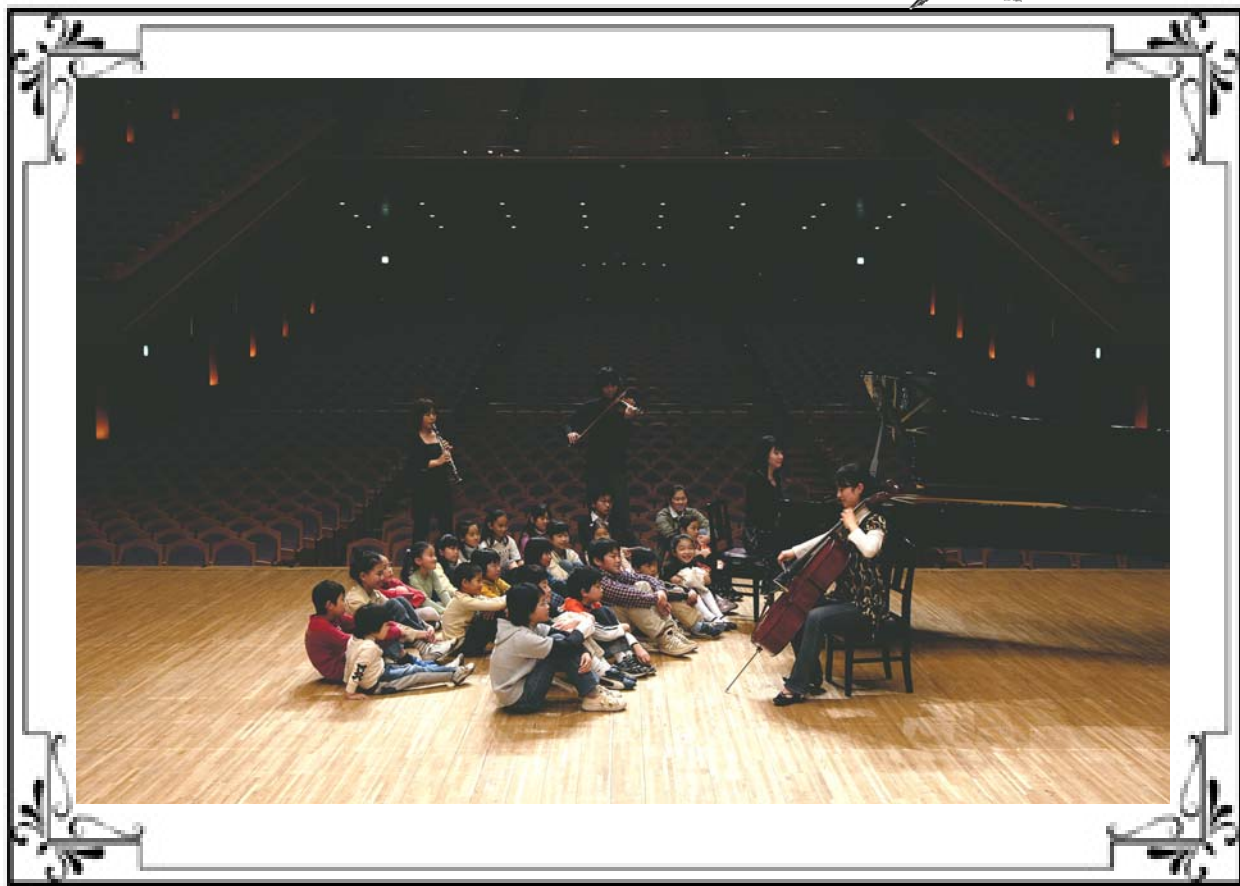


子ども音楽新聞 第11刊

フランスの大作曲家 オリヴィエ・メシアン

時の終わりのための四重奏曲 大特集！！



7/1(火)6:30p.m. 東京文化会館 小ホール

ヴァイオリン:堀米 ゆず子

ピアノ:野平 一郎

クラリネット:チャールズ・ナイディック

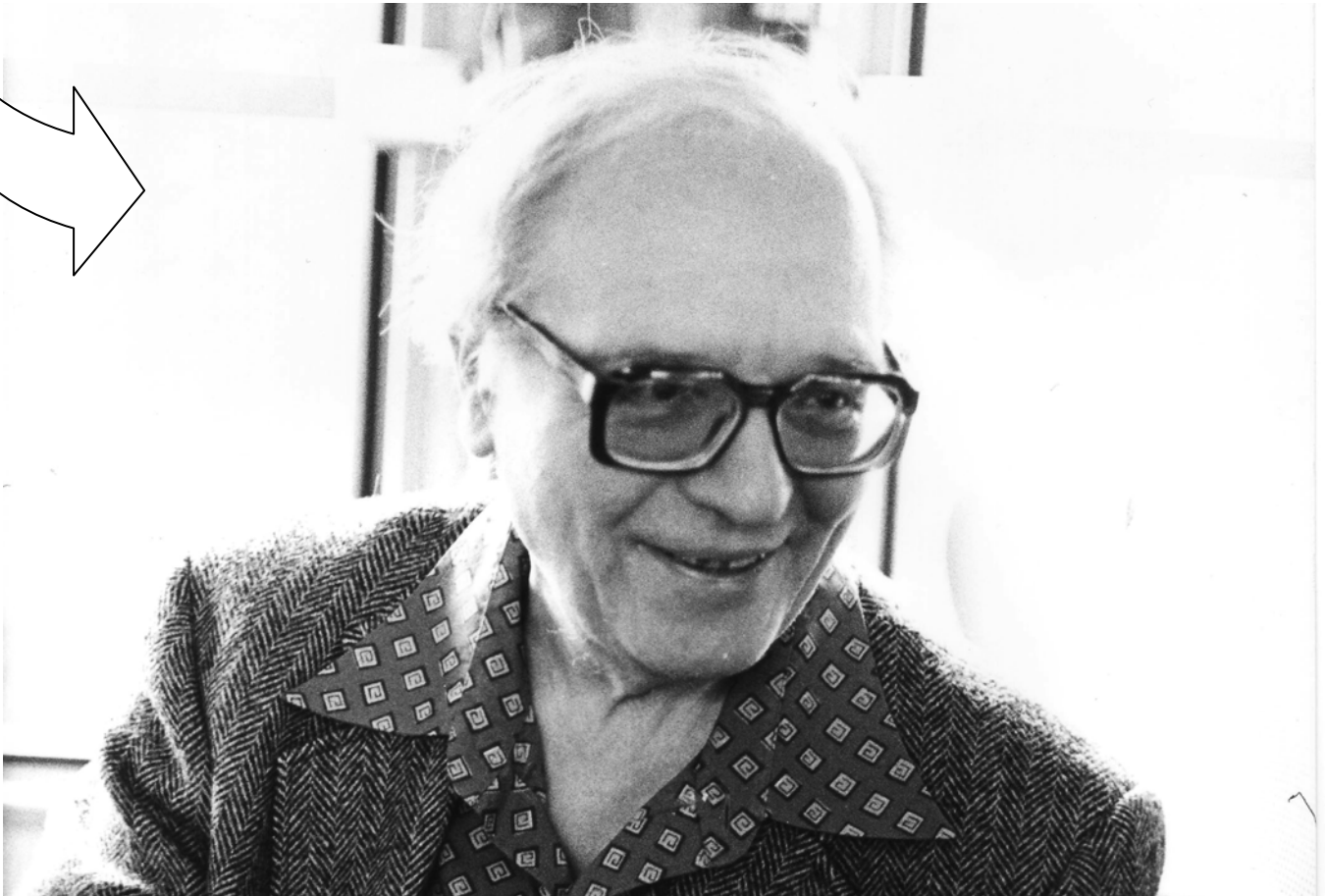
チェロ:辻本 玲

朗読:谷川 俊太郎

構成・司会:武満 眞樹

2008年6月号

このひと、だれ？



答え：フランスの大作曲家 オリヴィエ・メシアン

1908 年にフランスのアヴィニョン(⇒P. 8へ！)で生まれ、1992 年にパリで亡くなった、20 世紀を代表する作曲家の一人です。クラシック音楽の歴史では「現代音楽」と呼ばれる、新しい時代(⇒P. 9へ！)に属しています。

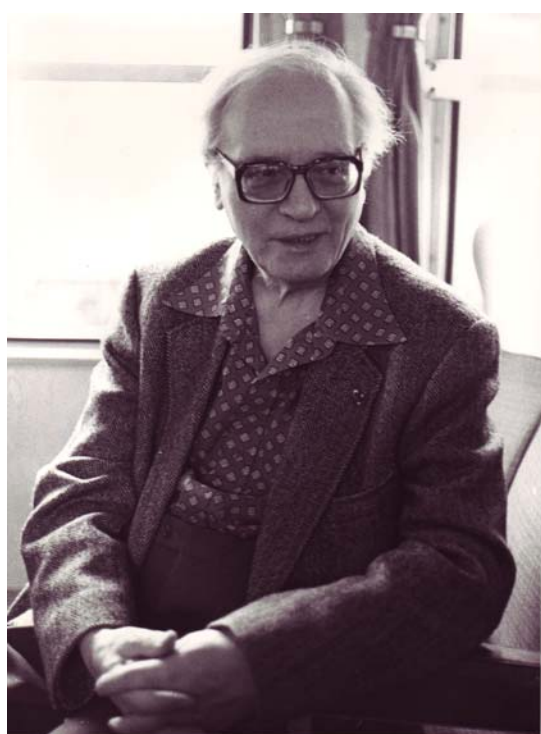
8歳のクリスマスにはみずから希望してオペラの楽譜をプレゼントしてもらったほど、早くから音楽にめざめた彼は、9歳から作曲を始め、11 歳から名門パリ音楽院で学びました。1930 年卒業し、翌 31 年からパリの聖トリニテ教会の首席オルガン奏者を 33 年間も務めながら、次々と作品を発表します。第二次大戦中の 1940 年にはドイツの捕虜となり、このとき「時の終わりのための四重奏曲(⇒P. 5へ！)」を作曲。1942 年釈放後はパリ音楽院の教授となり、1948 年には有名な「トゥーランガリラ交響曲」(トゥーランガリラは、ひとことでは「愛の歌」の意味)を作曲します。最初の奥さんを亡くしていた彼は、1962 年に教え子だったイヴォンヌ・ロリオ(⇒P. 4へ！)と結婚。彼女はピアニストとしてメシアンの作品を初演するなど、音楽面でも良きパートナーとなりました。以後も晩年に至るまで、多くの作品を発表。

1962、85、86 年には来日も果たしました。また、ブーレーズやシュトックハウゼンといった有名作曲家も多く育てるなど、指導者としての業績も大きく、日本人音楽家にも彼のもとで学んだ人がたくさんいます。(文：柴田克彦)





メシアン
写真館



オリヴィエ・メシアン音楽のひみつ／野平多美

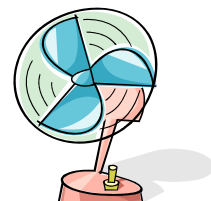
みなさん、一度目を閉じて、周りの音に耳を澄ましてみてください。

何が聴こえますか？

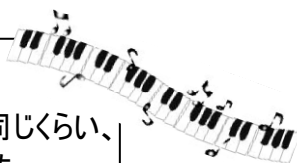
電気製品のブーンという音、家の外で犬がなく声？

それとも誰かが階段を昇るコツコツという音？

たくさんの“音”が聞こえますね。



作曲家のメシアンは、
ピアノを弾いたり音楽を聴いたりすることと同じくらい、
外に出て自然の音を聞くことが大好きでした。
童謡の「アヴィニヨンの橋の上で」で知られる
フランスのプロヴァンス地方アヴィニオンに生まれて、
赤ちゃんの頃から自然いっぱいの山ちかくで育ったからでしょう。
特に鳥の鳴き声にひきつけられたのです
1940 年頃からの作品には、必ず鳥の声が聞こえてきます。
それが、メシアン音楽のひみつの 1 つめです。



アヴィニヨンの橋の上で



教会旋法は
フランスの作曲家、
ドビュッシーや
ラヴェルの
作品にも、
使われていますよ。



2つめのひみつは、メシアンが自分自身で新しい＜音階＞をつくり出したことです。

フランスで育ったメシアンは、みなさんが知っている長音階と短音階に加えて、キリスト教カトリックの教会旋法（音階）に親しんでいました。メシアンはそれだけに満足しないで、オクターブの中の全音と半音の数を変えて規定した音階をいくつもつくりました。



そしてそれらの音階が放つ響きに、メシアンは色彩をイメージしたのです。みなさんも、寒さを感じるのには青や緑、暖かさを感じるのには赤やオレンジというように、寒色系や暖色系という色の区別と、それを目にした時の自分が感じる温度の関係について聞いたり感じたりしたことがあるでしょう。同じようにメシアンは、音楽の響きを聴いて、色彩を感じることができました。メシアンの作品を聴いたら、耳を澄ましてみて下さいね。みなさんにも、なにか色が頭に浮かぶかも知れません。

♪ちょっとつけたし♪

7つのメシアンの旋法（それぞれある回数しか移調できない、“移調の限られた旋法”という名前）より第2旋法をご紹介します。



また 1920 年頃には、オーストリアのウィーンを中心に“12 音技法”というドからシまでの白鍵と黒鍵の 12 のすべて音を用いる音階による作曲の仕方も流行りました。



西洋音楽は、基本的にワルツやメヌエットの3拍子、マーチやガヴォットの4拍子や2拍子など舞踏の音楽のリズムで作曲されてきました。

3つめのひみつは、メシアンがインドのヒンドゥーのリズムに興味を持ったことです。そしてギリシャのリズムのさまざまな音の長さにも目を向けて、自分の考えを表現したくなったのです。

メシアンは、ある音符に付点を付けることで、リズムを変化させました。

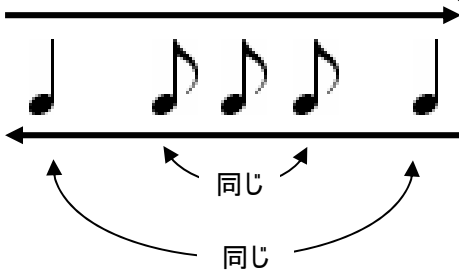
またメシアン独特のリズム・パターンとしては、

タンタタタン

前からはじめても後ろからはじめても同じリズム、つまり“逆行できないリズム”が代表的です。

なお、5拍子や7拍子というな
く変拍子>は、ハンガリーの作曲家、
バルトークやコダーイがよく使っていました、
その後多くの作曲家が用いています。

“逆行できないリズム”



前からはじめても後ろからはじめても同じリズム



逆行しても同じリズム＝“逆行できないリズム”
になるわけですね！



4つめのひみつは、キリストへの愛です。
カトリックのクリスチャンだったメシアンは、
キリスト教の聖書を題材にした作品をたくさん残し、
キリスト教への誓いを音楽で表わしました。



「時の終わりのための四重奏曲」を聴くときに、
この4つのひみつをどうか思い出して下さいね。

♪ちょっと休憩♪

このひと、だあれ？

メシアンが
うつっていますね。



メシアンは、教えたかった
メシアン・ロリオと結婚。
彼女はメシアンとして
メシアンの作品を初演する
など、音楽界でも良き
パートナーになりました。

梅え、メシアン・ロリオ



オリヴィエ・メシアン作曲「時の終わりのための四重奏曲」

解説: 野平多美

まず、“時の終わり”とは、どういうことでしょうか。

メシアンは、今この世に生きている自分を中心にして、今までの時間も、これからの時間も永遠であるという“時”についていつも考えていました。



そして聖書を読んで気にかかったのは、
「もはや時がない」という言葉でした。
それは天使の予言で、
もうすぐ最後の審判が下されるという意味です。

キリスト教では、
時(世／世界)の終わりに
人々に審判が下された時、
キリストが再び現われて、
天国へ行く人と地獄へ行く人に
分けるといわれています。

その情景を、メシアンは「時の終わりのための四重奏曲」で表しました。

メシアンに聖書の言葉を思い出させたのは、第二次世界大戦の間に、ドイツの捕虜となって収容所に入れられていた 1940 年頃でした。



収容所はとても寒くて、食べ物もあまりもらえなかったので、
いつもお腹がすいて仕方がなかったそうです。



そんなとき、メシアンには、「もはや時がない」と叫ぶ天使が見えたり、
いろいろな“色”が頭の中をくるくる回ったといえます。

ここで、メシアンがインスピレーションを受けた、
新約聖書 「ヨハネの黙示録」の第 10 章（日本聖書協会より転載）をご覧ください。

わたしはまた、もう一人の力強い天使が、雲を身にまとい、天から降ってくるのを見た。
頭には虹をいただき、顔は太陽のようで、足は火の柱のようであり、手には開いた小さな
巻物を持っていた。そして右足で海を、左足で地を踏まえて、獅子がほえるような大声で
叫んだ。天使が叫んだ時、七つの雷がそれぞれの声で語った。(中略)

すると、海と地の上に立つのをわたしが見たあの天使が、右手を天に上げ、世々限りなく
生きておられる方にかけて誓った。(中略)

「もはや時がない。第七の天使がラッパを吹くとき、神の秘められた計画が成就する。
それは、神が御自分の僕である予言者たちに良い知らせとして告げられたとおりである」

(以下省略)

メシアンは、頭に浮かんだ“色”を表すために、新しい<音階>を自分でつくりました。

↳ P.3の②つめのひみつ！

それから、天使の叫びやラッパの音楽を表すために、

インドやギリシャで生まれたリズムをもとにして、新しい<リズム>をつくりました。

↳ P.4の③つめのひみつ！

また、この曲には、みなさんの耳に残るような鳥の鳴き声を表した
パッセージがいくつも出てきます。

メシアンにとって“鳥”は、“時の永遠性”に相反するものでした。



1941年1月15日、ドイツのシュレジエンのゲルリッツ捕虜収容所に仮設舞台が作られて、
この曲は数千人の捕虜の前で初演されたそうです。

演奏は、同じ収容所にいた、
ヴァイオリン、クラリネット、チェロの演奏家と、メシアン（ピアノ）自身でした。



ヴァイオリン



クラリネット



チェロ



ピアノ

この曲の非常に変わった編成は、
これらの楽器の演奏家が収容所にいたという偶然から生まれたものです。

曲は、全部で8楽章から成っていますが、今回は第1～3楽章と第6～8楽章が演奏されます。

第1楽章 水晶の典礼（四重奏）

第2楽章 時の終わりを告げる天使のためのヴォカリーズ（四重奏）

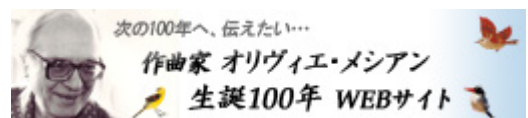
第3楽章 鳥たちの深淵（クラリネット独奏）

第6楽章 7つのトランペットのための狂乱の踊り（四重奏）

第7楽章 世の終わりを告げる天使のための虹の錯乱（四重奏）

第8楽章 イエスの不滅性への賛歌（ヴァイオリンとピアノの二重奏）

もっとメシアンについて詳しく知りたい人は・・・



www.messiaen100.jp/

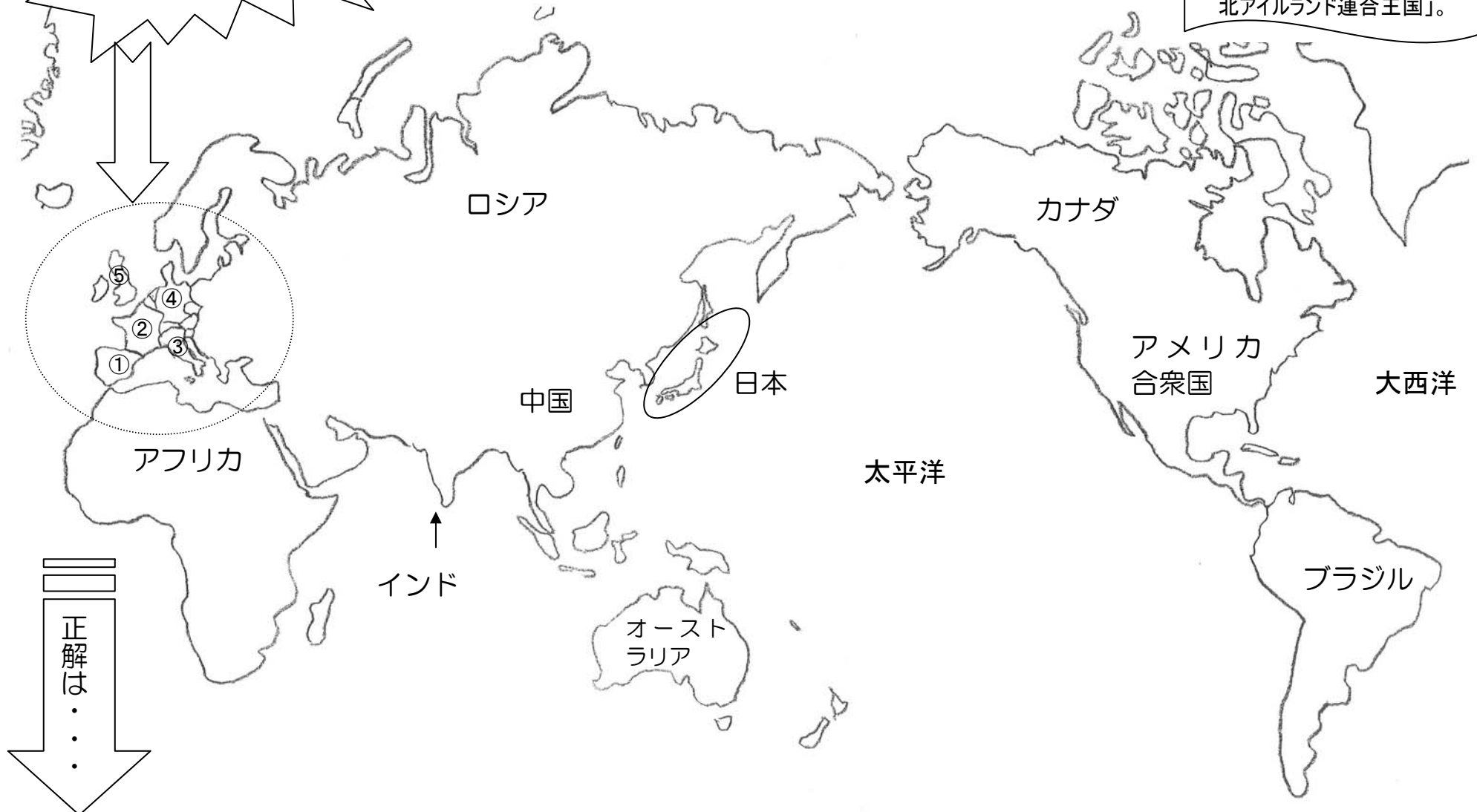


メシアンの故郷 フランスを探せ！

①～⑤のうち
フランスは
どこでしょう？

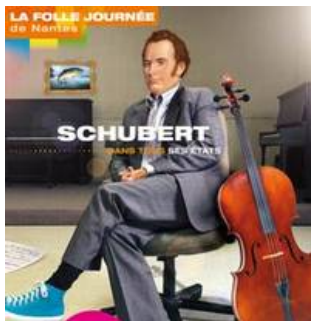
ヒント！

- ①情熱と闘牛士の国。
- ②今年、日本と交流 150 年。
- ③ながつのような形の国
- ④世界的レベルの音楽家が多数
- ⑤正式な国名は
「グレート・ブリテン及び
北アイルランド連合王国」。



答えは ②

正式国名: フランス共和国
面積: 日本の約 1.5 倍
人口: 日本の約 2 分の 1
首都: パリ



ラ・フォル・ジュルネ
(ナントが故郷!)



ボルドーワイン
世界的に有名。

⑤イギリス

Belgium
ベルギー

④ドイツ

②フランス

Switzerland
スイス

③イタリア

①スペイン

Paris
パリ

Nantes
ナント

Bordeaux
ボルドー

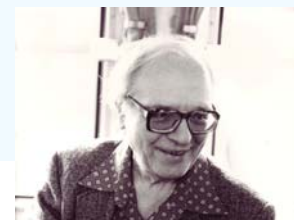
Lyon
リヨン

Avignon
アヴィニョン

Cannes
カンヌ

Nice
ニース

Monaco
モナコ



メシアン
(アヴィニョン生まれ)



アヴィニョンの橋



エッフェル塔 (パリ)



凱旋門 (パリ)



大野和士
(今年の9月から
フランス国立リヨン歌劇場
首席指揮者に就任!)



★クラシック音楽の歴史の流れ★

クラシック音楽には、大きく分けると、五つの時代があるんだね！
まるで、日本の歴史の江戸時代などとおなじようだね！



グレゴリオ聖歌

ヴィヴァルディ(1678-1741)

シューベルト(1797-1828)

R. シュトラウス(1864-1949)

J.S.バッハ(1685-1750)

ベルリオーズ(1803-69)

ヘンデル(1685-1759)

メンデルスゾーン(1809-47)

シベリウス(1865-1957)

ハイドン(1732-1809)

シューマン(1810-56)

バルトーク(1881-1945)

ショパン(1810-49)

ストラヴィンスキー(1882-1971)

W.A.モーツァルト
(1756-91)

リスト(1811-86)

プロコフィエフ(1891-1953)

ベートーヴェン(1770-1827)

ショスタコーヴィチ(1906-75)

ヴェルディ(1813-1901)

メシアン(1908-92)

ワーグナー(1813-83)

ブーレーズ(1925~)

スメタナ(1824-84)

シュトックハウゼン(1928-2007)

サン＝サーンス(1835-1921) 武満徹(1930-96)

チャイコフスキー(1840-93)

ドヴォルザーク(1841-1904)

グリーグ(1843-1907)

フォーレ(1845-1924)

マーラー(1860-1911)

ドビュッシー(1862-1918)



柴田克彦さんにききました！

メロディー！

10/3 (金) 6:30p.m.

大田区民ホール・アブリコ

で登場します！



知っている作曲家は何人いるかな？

ピアノの豆知識①

Q1:ピアノの名前の由来は？

A:“ピアノ(*p* =弱い音)とフォルテ(*f* =強い音)が自由に出せる楽器”を意味する「ピアノフォルテ」が、もともとの名称です。それまでの鍵盤楽器が小さい音か一定の音量しか出せなかったために、そう名付けられました。しかしだいに「フォルテ」が略されるようになり、本来は「弱い音」を意味する「ピアノ」だけになってしまいました。

Q2 ピアノはいつ作られたの？

A: イタリア、フィレンツェのメディチ家に仕えていた楽器修理係バルトロメオ・クリストフォリによって 1709 年に作られた楽器が最初とされています。それから何度も改良を重ねられ、19 世紀の末ころ、現在と同じ構造になりました。

Q3 ピアノの前にはピアノのような楽器はあったの？

A: はい何種類もありました。もっとも有名なのはハープシコード(チェンバロ)です。これは 14 世紀ころには音楽史に登場し、現在でも使われています。ただ、ハープシコードは弦を突起のようなもので「はじく」楽器、対するピアノは弦をハンマーで「叩く」楽器です。その意味でよりピアノに近いのは、今はすたれたクラヴィコードという、金属で弦を叩く、音の小さな楽器。これはバッハやモーツァルトも愛用していました。

最後のページにつづきます。

コンサート情報はこちら！

300年の歴史を迎えた楽器の王様、ピアノで綴る1年間...

Sony Music Foundation

子どもたちに贈るスペシャル・コンサートシリーズ Vol.5

『THE PIANO～リズム！メロディー！ハーモニー！』

＜ハーモニー＞

2008年7月1日(火) 午後6時30分開演

東京文化会館 小ホール

好評
発売中！

【曲目】メシアン:「時の終わりのための四重奏曲」(第1・2・3・6・7・8楽章)

【出演】堀米ゆず子(ヴァイオリン)、野平一郎(ピアノ)、チャールズ・ナイディック(クラリネット)、
辻本玲(チェロ)、谷川俊太郎(朗読)、武満真樹(構成・司会)



堀米 ゆず子(ヴァイオリン)

エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人として初めて優勝して以来、世界一流のオーケストラとの共演を重ねるベルギー在住のヴァイオリニスト。



辻本 玲(チェロ)

2006年東京芸術大学を首席で卒業。国内のコンクールで数々の受賞を果たす。全国各地でリサイタルを開催、室内楽のコンサートにも数多く出演。



野平 一郎(ピアノ)

作曲家、ピアニストとして国際的に活躍。数多くの現代曲の初演や室内楽などに携わる。すでに40曲以上の管弦楽曲、室内楽曲、ソロ曲等を作曲。



谷川 俊太郎(朗読)

現代を代表する詩人のひとり。作詩のほか、絵本の翻訳、記録映画の脚本、写真、ビデオなどさまざまな分野で活躍。みずみずしい感性が高い評価を得ている。



チャールズ・ナイディック(クラリネット)

ソリスト、室内楽奏者として活動、ジュリアード音楽院などで教鞭もとる。各国の音楽祭に講師及び演奏家として招かれており、現在もっとも聴衆を魅了するアーティスト。



武満 真樹(構成・司会)

故・武満徹の愛娘。洋画翻訳家(字幕・吹き替え)として、またコンサートの企画・司会・テレビ・ラジオの音楽番組の進行役・インタビュアーとしても活躍している。

ヴァイオリン・ピアノ・クラリネット・チェロの演奏に加え、今回は特別に、谷川俊太郎が朗読します。また、メシアンから多大な影響を受け、谷川とも親交が深かった作曲家、故・武満徹の娘である武満真樹の構成により、出演者がそれぞれこの曲についての想いを語ります。

【チケット料金(各公演共通)】

小学生 2,000 円／中学生・高校生 2,500 円

小学生・中学生の保護者、同伴者 4,000 円

- ◆小・中学生のお子様だけの入場も可能です
- ◆大学生は同伴者(保護者)とさせていただきます
- ◆未就学のお子さまのご入場はできません
- ◆小・中学生のお子様の同伴者(保護者)のみ、チケットの購入が可能です
- ◆1人でも多くのお子さまに聴いていただきたい為、大人のみのお断りいたします

【プレイガイド】

●Sony Music Foundation

03-3261-9933 (月～金/10:00-18:00)

●チケットぴあ 0570-02-9999

Pコード: 290-252 (7/1)

295-983 (10/3)

296-020 (11/20)

●イープラス eplus.jp/

＜ハーモニー＞公演ご来場の方、全員にプレゼント！

オリヴィエ・メシアン生誕100年を記念して、本皮製ピアノ型携帯クリーナーを、＜ハーモニー＞公演にご来場の方全員にプレゼントします！

<メロディー>

7/17
発売!

10月3日(金)午後6時30分開演

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

【曲目】グリーグ:ピアノ協奏曲

ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1・3・4楽章



【出演】上原彩子(ピアノ)、

クリスチャン・ヤルヴィ(指揮)

ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団



2002年チャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門において日本人初、また女性として世界初の優勝者となった上原彩子を迎え、音楽の都ウィーンで100年の伝統を誇るウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団とピアノ協奏曲を演奏します。指揮者は、音楽一家として名高いヤルヴィ家の俊英、クリスチャン・ヤルヴィ。今まさに世界の楽壇の注目を集める顔ぶれです。



<リズム>

9/6
発売!

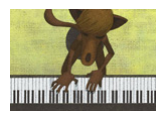
11月20日(木)午後6時30分開演

HAKUJU HALL

【曲目】短編アニメ「オオカミくんはピアニスト」上映

(ライブ演奏付)、他

【出演】ファジル・サイ (ピアノ)



トルコ出身の鬼才、ファジル・サイが登場。作曲家としても活躍するサイは、同名の絵本が原作となった映像と音楽の完全な融合が素晴らしい短編アニメーション映画「オオカミくんはピアニスト」の作曲・演奏を手がけています。今回は特別に、サイが同映画をバックに生演奏をつけてお届けする世界初の公演! ピアノという楽器を、まるで自分の体の一部のように自在に操るサイの演奏は必聴、必見です。

《アン3ブル・チケット (7/1、10/3、11/20の3公演通し券)》1年間で3つのコンサートが楽しめる、オリジナル・グッズ付

小学生 6,000 円 / 中学生・高校生 7,500 円 / 小学生・中学生の保護者、同伴者 12,000 円



アン3ブル・チケット購入者全員にオリジナルペンケースをプレゼント! 限定 200 個!

ピアノの鍵盤がデザインされたタオル地のペンケースです。3色(ブラック、ブルー、ピンク)からお好きな色をお選びいただけます。アン3ブル・チケットをお申し込みの際、お好きな色をご指定ください。

※アン3ブル・チケットは Sony Music Foundation のみの取扱いとなります。

次回予告!

今回は、ピアノのヒミツにせまります!

ピアノに関する、あんなことや、こんなこと。

みなさんは、どのくらいピアノについて知っていますか!?

ちょっとだけ、さきどり! 豆知識②

Q4 ピアノに88鍵あるのはなぜ?

A: 初期のピアノは、鍵盤の数が49でした。この数は人間の声の音域をすべて演奏できることによっています。ところがより幅広い表現を求める作曲家たちの要望で音域が広がり、19世紀末ごろ88鍵になりました。88鍵あれば、オーケストラの全楽器の音域をカバーできるのに加えて、これ以上広げたとしても、人間の耳にはノイズにしか聴こえないため、この数で定着しました。

Q5 音楽のお稽古を始めるときにピアノからスタートするのはなぜ?

A: 音楽の3要素「リズム、メロディー、ハーモニー」を、すべて満たせるからでしょう。弦楽器や管楽器が単独でハーモニーを作るのは、かなり無理があります。またQ4のように、人間が美しく聴き取れる音域をほとんどカバーしているのも重要な要素。つまり、音楽の基本がこれ1台でマスターできるわけです。それゆえ、トータルで音楽を作る作曲家や指揮者には、ピアノが欠かせません。昔から作曲家や指揮者に名ピアニストを兼ねている人が多いのも、当然といえそうです。(柴田克彦)

発行: 財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation)

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7F

TEL: 03-3261-9933 FAX: 03-3261-9898 Email: smf@sonymusic.co.jp URL: www.smf.or.jp

発行人: 齋藤成人 / 編集: 岩田美紀・川崎映子・高堀明日香・野平多美・柴田克彦